

第8章 特別活動

第1 指導計画の作成

1 指導計画作成の基本的な考え方

- (1) 学校の創意工夫を生かす
各学校において、学校の伝統や歴史、経営方針や重点目標、地域のよさや特性等を積極的に生かすなど工夫して、特色ある特別活動の指導計画を作成することが重要である。
- (2) 学級や学校の実態や生徒の発達の段階などを考慮する
学級や学校、地域の実態や生徒の発達の段階及び特性等を考慮する。また、生徒の興味・関心、能力・適性等に関する十分な生徒理解に基づき、いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図る。その上で、学校や学年における重点目標、指導の内容、活動の方法などを明確にすることが大切である。
- (3) 各教科、道徳科及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る
カリキュラム・マネジメントの観点に立ち、各教科等で育成された資質・能力が特別活動で十分に活用できるようにするとともに、特別活動で培われた資質・能力が各教科等の学習に生かされるように関連を図ることが大切である。
- (4) 生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようにする
学級活動(1)や生徒会活動では、自発的、自治的な活動を一層効果的に展開し、自主的、実践的な活動が助長されるようにする。また、学級活動(1)に重点を置き、より多くの活動の機会を設けることができるような計画を作成する。学級活動(2)、(3)や学校行事では、教師の適切な指導の下、計画や運営に生徒の自主的、実践的な活動を可能な限り取り入れるよう工夫する。
- (5) 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する
体験を通して学ぶことを重視する特別活動の特質に鑑み、家庭や地域との交流を深め、その教育力の活用を図ったり、地域の自然や文化・伝統を生かしたり、社会教育施設等を活用したりすることが大切である。

2 指導計画作成の一般的な手順

	作成の手順
全体計画	ア 学校の教育目標を特別活動を通して具現化するため、育成する資質・能力を明らかにし、基本方針を定める。 イ 学校、生徒の実態及び道徳教育の重点を踏まえ、特別活動の重点目標と指導の重点を明確にする。 ウ 学校として取り上げる活動、学校行事の内容を明確にし、それぞれの目標と指導方法を明確にする。 エ 参加学年、配当時数などの基本計画を立てる。 オ 活用できる施設、設備、活動時間等を明確にし、家庭や地域、関係機関等との連携の方針を立てる。
学級活動	ア 学級活動の目標や内容を踏まえ、学校全体としての学級活動の指導の構想を明確にする。 イ 活動内容(1)、(2)、(3)それぞれに充てる授業時数を明確にする。 ウ 学校、生徒の実態及び道徳教育の重点を踏まえ、各学年において取り上げる指導内容の重点化、内容間の関連や統合を図り、学校としての年間指導計画を作成する。 エ 学級や生徒個々の実態や課題などを考慮して、学級ごとの年間指導計画を作成する。
生徒会活動	ア 生徒会活動の目標や内容を踏まえ、学校全体としての生徒会活動の指導の構想を明確にする。 イ 生徒会活動の内容に応じ、充てる授業時数を明確にする。 ウ 学校、生徒の実態及び道徳教育の重点を踏まえ、本年度の生徒会活動の基本方針や組織とその運営方法を明確にする。 エ 活動のための場所や時間等を明確にするとともに、活動ごとの年間指導計画を作成する。 オ 教職員の指導体制を明確にする。
学校行事	ア 学校行事の目標や内容を踏まえ、学校全体としての学校行事の指導の構想を明確にする。 イ 学校、生徒の実態及び道徳教育の重点を踏まえ、種類ごとに行事及びその内容を重点化するとともに、行事間の関連や統合を図るなどし、特定の時期に偏らないように配列する。 ウ 行事の内容、参加学年、授業時数等を決定するとともに事前、事後の指導に充てる授業時数を明確にする。 エ 活用する施設、設備等を明らかにする。

※ 全体計画及び年間指導計画は、評価し、改善を図り、次年度の計画に反映させる。

3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

(1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた生徒への指導」の視点

学びの過程において考えられる困難さに対する指導の工夫の意図、手立てを明確にし、個々の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫する。必要に応じて、個別の指導計画を作成し、必要な配慮を記載する。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点

特別活動において、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己実現に資するよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を推進する。そのために、特別活動の目標の具現化に向け、生徒が「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせていけるよう、指導計画を作成する。

(3) 「教科等横断的」な視点

各教科等の特質に応じて育まれた資質・能力を、実践的な集団活動を通して、統合的で汎用的な力に変え、キャリア教育の充実を図るという視点からも、実生活で活用できるようにすることが大切である。学級経営の充実に資する特別活動の積み重ねが、学校文化を創造し、各教科等での主体的・対話的で深い学びを支え、そこで培われた資質・能力が、特別活動の充実にもつながる。

(4) 「社会に開かれた教育課程」の視点

生徒の主体的な活動を指導する具体的な方策や、自校の実践を地域社会と共有することが大切である。また、学校が意図的、計画的な教育活動の一環として、学校内外において多様な他者と交流し、協働して活動できる機会と場を設定することが大切である。

(5) 「道徳教育の充実」の視点

特別活動における道徳性の育成を目指して、道徳教育の内容との関連を考慮する。特に、「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら直面する課題を解決する」という特質を生かし、道徳的実践の指導の充実を図る。

(6) 内容の取扱いについての配慮事項

配慮事項	
全体計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調和のとれた特別活動の全体計画を全教師の協力の下で作成する。 ○ 小学校との円滑な接続を踏まえるとともに、3年間を通じた系統的、発展的なガイダンスの諸計画を立てるようにする。 ○ 朝の会や帰りの会、当番活動などの関連についても示すようにする。
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導内容の特質に応じて、自主的、実践的な活動を基盤とし、教師の適切な指導の下に、生徒の自発的、自治的な活動が助長されるようにする。 ○ よりよい生活を築くために、集団としての意見をまとめる話し合い活動、自分たちで決まりをつくって守る活動が生徒の活動計画に適宜取り入れられるように配慮する。
生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された11項目の内容は、全ての学年の年間指導計画に位置付ける。 ○ 学級の諸問題の解決を目指す自発的、自治的な活動を通してより好ましい人間関係を築いていけるよう配慮すること。 ○ 学級経営と学級活動における生徒の自治的な活動を充実させる。 ○ 学校生活への適応や人間関係の形成などについては、ガイダンスとカウンセリングの趣旨を踏まえた指導を図る。
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校の創意工夫を生かした特色ある学校行事や学校づくりを進める観点に立って、重点化や行事間の関連・統合を図る。 ○ 幼児、高齢者、障害のある人々との触れ合いなどを充実させる。 ○ 自然の恵みに感動する心を育む自然体験や、社会の一員としての在り方や望ましい勤労観・職業観を育成する社会体験などについて、意図的・計画的に取り入れる。 ○ 入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導する。

第2 指導計画作成のための資料

1 特別活動の全体計画 (例)

<p>目指す生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域社会の要望 たくましく、心豊かな生徒 ・学校、生徒の実態、地域の実態 開校〇〇周年。保護者に卒業生が多く、学校教育への理解と協力があがる。生徒は素直で明るい、自主的に活動することが不得手な面がある。

<ul style="list-style-type: none"> ・各教科との関連 各教科で育まれた資質・能力を統合的に活用する力に変え、実生活で活用する力に向かう主体的で協働的な集団づくり ・道徳科との関連 具体的な実践や体験などが行われることにより、道徳的な実践と有機的に関連 ・総合的な学習の時間との関連 学校行事で関連 ・生徒指導・教育相談との関連 いじめの未然防止 ガイダンスとカウンセリング ・学級経営との関連 学級経営は特別活動が要 ・特別支援教育との関連 個々の生徒の困難さに応じ指導内容や指導方法を工夫
--

<p>学校の教育目標</p> <p>◎確かな学力の向上と健やかな心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○たくましい生徒
<p>学校研究テーマ</p> <p>「望ましい人間関係を築く社会性の育成」</p>

<p>特別活動の目標</p> <p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することにより資質・能力を育成することを旨とする。</p> <p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>

<p>学級活動の目標</p> <p>学級や学校での生活をよりよくするために話し合い、合意形成し、役割を分担して話し合い、実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることを通して、自主的、実践的に取り組む資質・能力を育成することを旨とする。</p>	<p>生徒会活動の目標</p> <p>異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。</p>	<p>学校行事の目標</p> <p>全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。</p>
---	---	---

<p>本年度の特別活動の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習や体験的な学習を通して、話し合いの進め方、よりよい合意形成と意思決定の仕方について理解し、行動の仕方を身に付ける。 ・自己や他者との関わりの中で課題を見出し、その解決に向けて話し合い、実践し、振り返り一連の学習過程の経験や積み重ねの中で合意形成や意思決定をすることができるようにする。 ・多様な他者を理解し協働すること、自己の在り方を考えることなどを通して生徒自身が様々な活動に自主的、実践的に関わろうとする態度を育てる。

<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・県教育課程編成要領

<p>家庭や地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校応援団による 学校農園への支援 ・地域事業所における 職場体験 ・ふれあい講演会 ・PTAによる資源回収

<p>各学年の指導の重点</p>		
<p>第1学年</p> <p>よりよい人間関係を築き、自己のよさや可能性を生かすために、集団活動の意義や活動を行う上で必要となること、教師の適切な指導の下に自分や自分たちの生活や活動から課題を見いだし、解決のために話し合い、合意形成や意思決定をすることができるようにする。</p>	<p>第2学年</p> <p>よりよい人間関係を深め、自己の在り方生き方を考えるために、集団活動の意義や活動を行う上で必要となること、教師の適切な指導を受けながら、自分たちの生活や活動から自ら課題を見いだし、解決のために話し合い、合意形成や意思決定をすることができるようにする。</p>	<p>第3学年</p> <p>よりよい人間関係を十分に深め、自己実現に向けた実践につながるために、集団活動の意義や活動を行う上で必要となること、教師の適切な指導を受けながら、自分たちの生活や活動から自ら課題を見いだし、解決のために話し合い、合意形成や意思決定をすることができるようにする。</p>

	学級活動	生徒会活動	学校行事
<p>重点目標</p> <p>1. 学級の生活上の諸問題や自己の成長に関する課題を他者と協働して解決することの手順や大切さを理解し、合意形成や意思決定の方法を身に付ける。</p> <p>2. 人間関係をよりよく形成し他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。</p>	<p>【内容】</p> <p>(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア、イ、ウ</p> <p>(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア、イ、ウ、エ、オ</p> <p>(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア、イ、ウ</p> <p>★ [第1学年の重点] (1)ア、イ (2)ア、エ (3)ア</p> <p>★ [第2学年の重点] (1)ア、イ (2)ア、イ (3)イ</p> <p>★ [第3学年の重点] (1)ア、ウ (2)ウ、オ (3)ウ</p>	<p>【内容】</p> <p>(1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営 生徒総会 生徒評議会 学級委員会 各種の委員会 実行委員会</p> <p>(2) 学校行事への協力 体育祭の協力、運営の分担 各種講演会、避難訓練・防災訓練などでの協力</p> <p>(3) ボランティア活動などの社会参画 夏休みボランティア活動 地域の行事への協力 P T A 活動への協力</p> <p>★ 学校内の様々な生徒の活動について、生徒会活動がもつ連絡調整に関する機能を生かすようにする。</p>	<p>1. 学校行事を通して集団や自己の生活上の課題を結び付け、人間としての生き方について考えを深め、人間関係や集団をよりよくすることができるようにする。</p> <p>2. 集団や社会の形成者としての自覚をもって多様な他者を尊重しながら協働し、公共の精神を養い、学校文化の創造に向け学校、学年、学級でよりよい校風をつくらうとする態度を養う。</p>
<p>活動の内容</p>	<p>【内容】</p> <p>(1) 儀式的行事 入学式 卒業式 始業式 終業式 修了式 離任式</p> <p>(2) 文化的行事 ふれあい講演会 合唱祭 芸術鑑賞会</p> <p>(3) 健康安全・体育的行事 身体測定 健康診断 避難訓練 防災訓練 乗物乱用防止教室 交通安全教室</p> <p>(4) 旅行・集団宿泊的行事 体育祭 持久走大会 球技大会 校外学習 自然体験教室 修学旅行</p> <p>(5) 勤労生産・奉仕的行事 職場体験活動 資源回収 ボランティア活動 校内緑化活動</p> <p>★合唱祭は文化的行事の重点とし、学校文化の創造につながるような内容や活動になるように工夫する。</p>	<p>・地域にお住まいの高齢者を招待する体育祭</p> <p>・地域の福祉施設との交流</p> <p>・地域の方々を招いての合唱祭</p> <p>・地域や小学校と連携した避難訓練</p>	<p>1年 80 時間</p> <p>2年 63 時間</p> <p>3年 68 時間</p> <p>・1年生で職場体験活動を実施する。</p> <p>・事前学習と事後の発表会は総合的な学習の時間とする。</p> <p>・学校行事の指導者は全教師が協力して計画、実施する。</p>
<p>本校の特色</p>	<p>・合意形成を目指した話し合い活動の充実（学級活動委員の輪番制・オリエンテーションの充実・朝の会、帰りの会で話し合い活動の充実に関する活動場面の工夫）</p> <p>・養護教諭、司書教諭、学校栄養職員等と連携した指導</p> <p>・ポートフォリオの活用</p>	<p>・全校生徒で取り組む夏休みボランティア活動</p> <p>・生徒会役員会による「いじめゼロ宣言」の策定</p> <p>・社会福祉協議会との連携による福祉ボランティア活動</p> <p>・小学校の児童会と連携したあいさつ運動</p>	<p>・生徒総会は年1回実施する。</p> <p>・各種の委員会では月1回実施する。</p> <p>・生徒会役員会では各種の委員会開催時を定例とする。必要に応じて適宜実施する。</p> <p>・指導者は全教師とする。</p>
<p>時間・組織</p>	<p>(1) (2)・(3)</p> <p>1年 20 時間</p> <p>2年 20 時間</p> <p>3年 18 時間</p> <p>・自発的、自治的な活動を重視する。</p> <p>・1年生は合意形成に関わる活動のガイダンスを充実させる。</p>	<p>・適宜、生徒会役員会や各種の委員会が全校生徒対象にアンケート調査を行い、活動の見直しと改善を図る。</p> <p>・評価結果を分析し、次なる取組に生かす。</p>	<p>・事後に活動の振り返りや発表会を行い、活動の成果と課題を生徒が相互評価しながら共有する。</p> <p>・担当者が教師対象に企画から事後の事務処理に至るまでのアンケート調査を行い、結果を分析し、次なる取組に生かす。</p>
<p>評価と改善</p>	<p>生徒一人一人のよさや可能性を積極的に認める。特別活動で学年末、年度末の学校評価の評価項目に各学年の指導の重点事項</p>	<p>★は本事例の重点事項</p>	

2 学級活動の年間指導計画

(1) 学級活動で取り上げる活動の例（第1学年の例）

活 動	内 容	議題例（・） 題材例（◇）
<p>ここで取り上げる活動は、あくまで例である。 内容(1)では、学級生活をもとに集団としての合意形成を図る話し合い活動を行うが、議題は生徒が選定し、学級全員で決定する。 内容(2)(3)では、生徒の実態から共通の問題を確認し、話し合い活動を通して、一人一人の意思決定を図るが、題材は教師が設定する。</p>	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> ・「学級の活動目標を立てよう」 ・「学級生活を見直そう」 ・「○学期の目標や計画を立てよう」 ・「○学期のまとめをしよう」 ・「学級がもっと仲良くなるための活動と工夫を考えよう」
	イ 学級内の組織づくりや役割の自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・「学級の組織づくりをしよう」 ・「係活動を充実させよう」 ・「当番活動を工夫しよう」 ・「学級文集の内容と工夫を考えよう」
	ウ 学校における多様な集団の生活の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「体育祭の活動計画を立てよう」 ・「合唱祭成功の作戦を立てよう」 ・「遠足のバスレクを考えよう」 ・「3年生を送る会の出し物の工夫を考えよう」 ・「学級お別れ会を開こう」
(1)学級や学校における生活づくりへの参画		
(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成	<ul style="list-style-type: none"> ◇「望ましい人間関係の在り方」 ◇「自他の理解と尊重」 ◇「豊かな人間関係づくりと自己の成長」
	イ 男女相互の理解と協力	<ul style="list-style-type: none"> ◇「多様な人との相互理解と協力」 ◇「人間の尊重と男女の平等」
	ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◇「不安や悩みの解消」 ◇「友情と恋愛と結婚」
	エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成	<ul style="list-style-type: none"> ◇「心の健康や体力の向上に関すること」 ◇「自転車運転時の交通安全」 ◇「種々の災害時の安全」 ◇「情報化社会におけるモラル」
	オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	<ul style="list-style-type: none"> ◇「楽しい給食と配膳の方法」 ◇「栄養の偏りのない食事のとり方」 ◇「食生活の見直しと改善」 ◇「生涯を通じた望ましい食習慣の形成」
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現	ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ◇「充実した人生と学習」 ◇「学ぶことや働くことの楽しさと価値」 ◇「自ら学ぶ意義や方法」 ◇「家庭学習の内容と方法」 ◇「学校図書館の意義とその活用」
	イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成	<ul style="list-style-type: none"> ◇「働く目的と意義」 ◇「身近な職業と職業選択」 ◇「職場体験活動の振り返り」
	ウ 主体的な進路の選択と将来設計	<ul style="list-style-type: none"> ◇「自分の夢や希望」 ◇「○年後の私」 ◇「人生と生きがい」 ◇「進路計画の必要性と立て方」

(2)学級活動の各活動における学習の過程例

一単位時間の指導計画は、事前及び事後の活動を含めた一連の活動の過程等についての見直しをもつことが大切である。

(1)学級や学校における生活づくりへの参画	(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現
<p>1 課題の発見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級や学校をよりよくするために、議題箱、朝の会や帰りの会の話題、学級日誌、 	<p>1 課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画にある問題に取り組むことを原則とするが、場合によっては日常の

事前の活動	生活記録ノート等から問題を収集し、議題化を図る。	観察等から直面する問題を取り上げる。
	2 共同の問題（活動）の設定 ・学級活動委員会が中心になり、以下の視点で問題を整理していく。 ①学級生活の諸問題に関すること ②係や当番の活動に関すること ③学校生活の充実や向上に関すること ④友達に関すること ⑤学習に関すること ⑥教室環境に関すること など	2 題材の設定 ・多くの生徒が問題としていることについて教師が題材を設定する。
	3 議題の選定・決定 ・学級活動委員が中心になり、以下の観点から議題を選定し、学級全員で決定する。 ①多くの生徒が早急な解決を望んでいる議題 ②学級内の問題で、学級全員で協力しなければならない議題 ③決めたことを自分たちの力で具体的に実行できる議題 ④創意工夫の余地がある議題 ⑤学級や学校生活をよりよいものにする議題	3 共通の問題（活動）の設定 ・課題に関する生徒の実態を把握し、共通する問題を整理して生徒に伝え、問題意識の共有化を図る。
	4 活動計画の作成 ・教師の適切な指導の下、学級活動委員会では話し合いの活動計画を作成する。 ①提案理由の明確化 ②役割分担（司会、黒板記録、ノート記録等） ③話し合うこと（柱）の設定	4 指導計画の作成 ・事前、本時、事後の指導計画を教師が作成する。 ・個々の生徒が共通に解決すべき問題として「活動テーマ」を決定する。 ・資料作りや作成した資料の説明、話し合いの場面等でできるだけ生徒の活動を取り入れる。中学生という発達の段階を踏まえ、資料作りだけでなく、学級活動委員会が主体となって「活動テーマ」を設定し、「活動テーマ設定の理由」等を作成することもできる。
	5 問題の意識化 ・議題に対する関心を高め、話し合いに積極的に参加できるように自分の考えをまとめる。	5 問題の意識化 ・題材や「活動テーマ」への関心を高め、話し合いに積極的に参加できるように自分の現状を考えたり、学級の現状を調べたりして、問題意識をもたせる。
本時の活動	6 学級会（話し合い活動） 集団討議による集団としての合意形成 ・教師の適切な指導の下、活動計画に沿って進行する。 ・少数意見も大切にしながら、提案理由に基づいた折り合いをつける話し合いになるように助言する。 ※集団としての合意形成を図り、一人一人の意思決定をすることもできる。	6 話し合いの活動 集団思考を生かした一人一人の意思決定 ・主に教師が中心となり、生徒の活動を取り入れ、以下の順序で指導する。 ア 問題意識を高め課題をつかむ イ 問題の原因をさぐる ウ 解決方法を話し合ってみつける エ 見つけた解決方法に沿って自己の実践事項を決める
	事後の活動	7 集団としての実践 ・学級全員で役割を分担して、決まったことを実践する。 ・生徒の活動意欲が高められるように見届けながら称賛する。
8 活動の振り返り（評価） ・学級全員で事前・本時・事後の一連の活動を振り返り、よかったことや次の活動への課題等を整理する。 ・学級全体や生徒の活動による変容や努力等について称賛する。		8 活動の振り返り（評価） ・一定期間の実践後、教師による評価や生徒同士の相互評価を行う。また、内容によっては家庭の評価も取り入れる。 ・生徒の活動による変容や努力等について称賛する。

※学級活動委員会

学級活動を生徒の活動とするために、教師の適切な指導の下、学級活動の計画を立てたり、役割分担を決めたりするなど、実践するまでの準備等を行う組織である（小学校では計画委員会と称している）。なお、学級活動委員については、なるべく全ての生徒が経験できるように配慮する。

(3) 学校で作成する学年別の年間指導計画例 (第1学年)

※ 学級活動の内容1)~(3)の11項目の全てについて学級活動が進められるよう年間指導計画を作成する。

目標	目標の資質・能力を育成するため、全ての学年において、各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるようにする。		(1)学級や学校における生活づくりへの参画 [20時間]		(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全		(3)一人一人のキャリア形成と自己実現		[[2(3)は合わせて15時間]		主な生徒会活動、学校行事の予定
学級活動の内容	予想される議題	指導上の留意点	内容	題材	○指導上のねらい ・指導上の留意点	内容	題材	○指導上のねらい ・指導上の留意点			
<p>〈1学期の議題例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級の活動目標を立てよう 学級の組織づくりをしよう 遠足のバスレクを考えよう 学級がもっと仲良くなるための活動と工夫を考えよう 体育祭の活動計画を立てよう 1学期のまとめをしよう 当番活動を工夫しよう <p>〈2学期の議題例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 2学期の目標や計画を立てよう 学級生活を見直そう 係活動を充実させよう 合唱祭成功の作戦を立てよう さらに学級が仲良くなるための活動と工夫を考えよう 生徒会活動に積極的に参加しよう 2学期のまとめをしよう <p>〈3学期の議題例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 3学期の目標や計画を立てよう 学級文集の内容と工夫を考えよう 中堅学年に向けての取組を考えよう 3年生を送る会の出し物の工夫を考えよう 学級お別れ会を開こう 1年間のまとめをしよう 	<p>〈話し合いの指導〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校での経験を踏まえ学級活動委員会についてのオリエンテーションを実施し、自主的、実践的な話し合い活動ができるようにする。 適切な課題を自分たちの力で発見し、選定して提案できるようにする。【3(3)】 主体的な話し合い活動となるように、話し合いの内容や順序、準備等について学級活動委員会で話し合わせ、計画を立てる。【3(2)】 <p>〈話し合い(本時)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科等の発表と同様に理由を明確にして進んで自分の考えを発表できるようにする。【3(3)】 自分とは異なる意見にも耳を傾け、多様な考えを認めつつ、提案理由をよりどころとして、一人一人の思いを大切にしながら、集団としての合意形成ができるようにする。【3(5)】 必要に応じて教師が助言をし、円滑な話し合いとなるようにする。 <p>〈実践〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 合意形成に基づき決定したことに、学級全員で協力して実践する。【3(3)】 <p>〈係活動への指導〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 当番活動と係活動の違いを理解し、学級に必要な係の組織づくりをする。 創意工夫を生かした活動計画を立てるようにする。 全員で役割を分担し、学級生活が充実、向上するような係活動が展開できるようにする。【3(5)】 係への要望や願いが出し合える活動を取り入れ、係活動が活発になるようにする。 	<p>4・5月</p> <p>6・7月</p> <p>9・10月</p> <p>11・12月</p> <p>1・2・3月</p>	<p>ア</p> <p>オ</p> <p>エ</p> <p>イ</p>	<p>・望ましい人間関係の在り方</p> <p>・楽しい給食と配膳の方法</p> <p>・自他の理解と尊重</p> <p>・食生活の見直しと改善</p> <p>・種々の災害時の安全</p> <p>・情報化社会におけるモラル</p> <p>・心の健康や体力の向上に関わること</p> <p>・多様な人との相互理解と協力</p>	<p>○中学生としての自覚を深めるとともに、よりよい人間関係づくりができるようにする。</p> <p>・1年生の生活の様子を紹介し、具体的な目標が立てられるようにする。</p> <p>○給食の意義を理解し、楽しい給食の在り方や、能率的、衛生的な配膳方法を考え出すことができるようにする。</p> <p>・具体的な配膳方法が考えられるよう実際の給食の場を想起させる。</p> <p>○自分の個性を見つめ、大切にし、理解するとともに、他者の個性を理解し尊重できるようにする。</p> <p>・自他のよさを理解できるよう実際の場を想起した話し合いを取り入れる。【3(5)】</p> <p>○自分の食生活を見直し規則正しくバランスの取れた食生活が送れるようにする。</p> <p>・栄養教諭と連携し成長期に欠かせない栄養素について資料を提示する。【3(3)】</p> <p>○災害時の心構えや安全確保に必要な知識を身に付けられるようにする。</p> <p>・具体的なめあてが立てられるよう防災訓練の経験に基づいた話し合いを取り入れる。【3(2)】</p> <p>○インターネット等の正しい利用の仕方とルール及びモラルを身に付けることができるようにする。</p> <p>・インターネットの利用に伴う危険性や弊害についての資料を提示する。</p> <p>○心身の発達に伴う不安や悩みを解決することができるようにする。</p> <p>・中学生の発達特性を示したり、自分の不安や悩みについて話し合ったりする。【3(2)】</p> <p>○男女の特性を考え、関心から理解へ、さらに協力へと発展して共同生活が豊かになるようにする。</p> <p>・生徒の心身の発達における個人差などを踏まえ適切な資料を提示する。【3(1)】</p>	<p>ア</p> <p>イ</p> <p>ウ</p>	<p>・自ら学ぶ意義や方法</p> <p>・家庭学習の内容と方法</p> <p>・働く目的と意義</p> <p>・身近な職業と職業選択</p> <p>・学校図書館の意義とその利用</p> <p>・〇年後の私</p> <p>・進路計画の必要性と立て方</p>	<p>○学ぶことの大切さを将来の生き方とも関連させ、主体的に学ぶ意欲を高められるようにする。</p> <p>・1年生の学習内容を示したり、先輩からのアドバイス等を取り入れたりする。</p> <p>○テストの意義と関連させ、学習計画の立て方や効果的な家庭学習の方法を考えられるようにする。</p> <p>・具体的な学習方法が考えられるよう経験を基にした話し合いを取り入れる。【3(2)】</p> <p>○働くことの目的や意義、重要性について気付くことができるようにする。</p> <p>・委員会や当番活動、家庭での役割など具体的な場を想起させる。</p> <p>○働く意義や尊さを考えることができるようにする。</p> <p>・働くことへの具体的なイメージがもてるよう身近な人々の職業について調査・発表を取り入れる。【3(4)】</p> <p>○図書に親しむだけでなく、情報や教養が得られる場としての役割を理解できるようにする。</p> <p>・司書教諭と連携し、図書館の活用の仕方について紹介する。【3(3)】</p> <p>○将来の自分について考え、夢の実現に向けて、今何をすべきかを考えることができるようにする。</p> <p>・1年間の成長を振り返ったり、自分の夢について話し合ったりする場面を設ける。【3(2)】</p> <p>○自分の将来について希望をもち、それを実現するための進路計画の大切さを理解できるようにする。</p> <p>・今後の生活に向けた具体的なめあてが立てられるよう2、3年生の生活を詳しく紹介する。</p>	<p>・入学式</p> <p>・始業式</p> <p>・対面式</p> <p>・新入生歓迎会</p> <p>・生徒総会</p> <p>・健康診断</p> <p>・避難訓練</p> <p>・校外学習</p> <p>・離任式</p> <p>・中間テスト</p> <p>・壮行会</p> <p>・学校総合体育大会</p> <p>・修学旅行</p> <p>・期末テスト</p> <p>・ふれあい講演会</p> <p>・薬物乱用防止教室</p> <p>・終業式</p> <p>・始業式</p> <p>・防災訓練</p> <p>・職場体験活動</p> <p>・体育祭</p> <p>・中間テスト</p> <p>・壮行会</p> <p>・新人戦</p> <p>・合唱祭</p> <p>・文化祭</p> <p>・生徒会選挙</p> <p>・上級学校訪問</p> <p>・交通安全教室</p> <p>・期末テスト</p> <p>・キャリア講演会</p> <p>・終業式</p> <p>・始業式</p> <p>・スキースクール</p> <p>・期末テスト</p> <p>・3年生を送る会</p> <p>・球技大会</p> <p>・卒業式</p> <p>・立志式</p> <p>・修了式</p>		

〈留意事項〉

○日常の生徒指導との関連を図って重点化を図ることにより、生徒が自ら学級や学校の生活の充実と向上に関する諸問題の解決に取り組む活動を重視する。

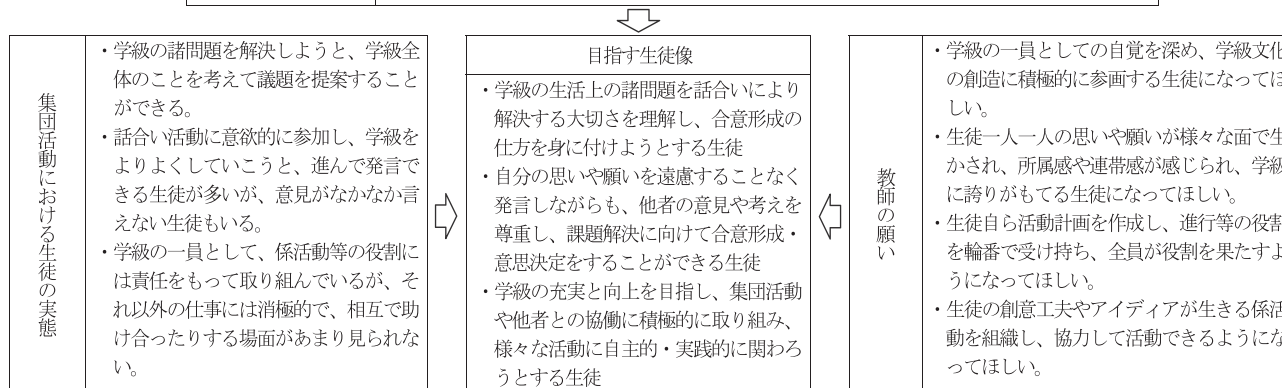
○活動の内容によっては、他の教師等の専門性を生かした方が効果的である場合が考えられる。例えば、健康や安全、給食、読書などを取り上げる場合、養護教諭、栄養教諭、司書教諭、学校栄養職員などの協力を得て指導に当たるようにする。

(4) 学級ごとの年間指導計画例

※学校で作成する学年別の年間指導計画を踏まえて、各担任は学級ごとの年間指導計画を作成する。

〇〇市立〇〇中学校 第1学年〇組 学級活動年間指導計画

学級教育目標	〇あいさつの元気な生徒	〇お互いに助け合える生徒	〇お互いに学び合える生徒
--------	-------------	--------------	--------------



手立て
 ・学級活動委員会を輪番制とし、誰もが司会や記録等を経験することで、協力し合える学級をつくれるようにする。
 ・係活動等で生徒の創意工夫やアイデアを取り入れて取り組むことで、学校生活や学習にも意欲的に取り組めるようにする。
 ・学級活動の時間で取り上げきれない議題等については、朝の会や帰りの会等を利用して解決を図るなど、議題を提案した生徒の意見が認められるようにする。

学期	(1)学級や学校における生活づくりへの参画	(2)日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全	(3)一人一人のキャリア形成と自己実現
1	1学期の活動目標「中学校生活に慣れ、学級のみんなと協力してよりよい学級にしていこう」 【話し合い】年度当初に話し合いの手順や役割について指導し、司会を中心に進められるようにする。 【係活動】係と当番の違いを明確にし、教師の助言のもとに学級内での必要な仕事を見付け、係を設置する。 ・学級の活動目標を立てよう ・学級の組織づくりをしよう ・体育祭の活動計画を立てよう	・望ましい人間関係の在り方 ・楽しい給食と配膳の方法	・自ら学ぶ意義や方法 ・家庭学習の内容と方法
1学期の評価(例) ○話し合い活動の意義を理解し、学級生活の課題を見いだして議題を提案したり、話し合いの仕方を理解して取り組もうとしていた。 ○話し合いが上手くまとまらず、合意形成に至らないことがあった。 ○話し合いにより意思決定したことや目標に向けて、継続して取り組んでいる生徒が多く見られた。			
2	2学期の活動目標「1学期の経験と反省を生かし、より一層楽しい学級をつくっていこう」 【話し合い】司会等に慣れていない場合には、お互いに助言し合って、誰もが役割を行えるようにする。 【係活動】1学期の反省と、簡単な活動計画を作成し、より計画的に係の活動ができるようにする。 ・係活動を充実させよう ・合唱祭成功の作戦を立てよう ・学級生活を見直そう	・種々の災害時の安全 ・情報化社会におけるモラル	・身近な職業と職業選択 ・学校図書館の意義とその活用
2学期の評価(例) ○学級のよさや課題に目を向け、議題を提案する生徒が増えた。 ○多様な意見を生かして合意形成を図ろうとしていたが、多数決に頼ることが多かった。 ○学級生活の課題解決のために話し合っ決めて決めたことに対して、主体的に取り組もうとする生徒が増えた。			
3	3学期の活動目標「学級の思い出をつくろう」 【話し合い】安易に多数決で決めるのではなく、様々な意見を出し合い、話し合いが深まるようにする。 【係活動】お互いの係へ要望が出せるようにするなど、活動の幅を広げ、活動の様子がみんなに分かるようにする。 ・学級文集の内容と工夫を考えよう ・3年生を送る会の出し物の工夫を考えよう ・学級お別れ会を開こう	・多様な人との相互理解と協力	・〇年後の私
3学期の評価(例) ○学級の諸問題の課題を話し合っ解決することや、他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法をよく考えて話し合いに取り組んでいた。 ○自分の意見を主張しながらも、お互いの意見や考えを認め合いながら話し合い、合意形成することができるようになってきた。 ○学級生活がよりよくなるために、何ができるかということを考え、合意形成したことに対して他者と協働しながら主体的に実践する生徒が増えた。			

〈留意事項〉

- 学期末に目指す生徒像を基にして、個と集団の評価を実施する。
- 学級活動における自発的、自治的な活動を中心として、学級経営の充実を図るようにする。

3 生徒会活動

(1) 生徒会活動の活動内容と組織 (例)

生徒会活動

生徒会活動の組織づくりと
生徒会活動の計画や運営

生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見だし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること

学校行事への協力

学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。

ボランティア活動などの社会参画

地域や社会の課題を見だし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。

<生徒会活動の内容の取扱い>
 ・学校の創意工夫を生かすとともに、教師の適切な指導の下で生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。
 ・人間関係を形成する力を養う活動を充実する。その際、道徳教育の重点を踏まえ、学校の実態や生徒の発達の段階などを考慮すること。
 ・話し合い活動の充実を図る。よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動を大切にする。
 ・学級活動や学校行事などとの内容相互の関連を図るとともに、部活動との連絡調整を図る。
 ・異年齢集団による交流を重視するとともに、幼児、高齢者、障害のある人々との交流や対話等を通して協働することや、他者の役に立つ経験、社会に貢献することの喜びを得られる活動を重視する。
 <組織をつくる上での留意事項>
 ○生徒会は全校生徒をもって組織するが、学校規模、地域の実態、生徒の発達の段階等を考慮して構成する。
 ○実行委員会の組織や構成は学校の実態に合わせ、生徒の思いと学校の創意工夫を生かしたものとす。
 ○学校の実態や課題に応じて、各組織の代表による会議をもつと効果的である。
 ○生徒評議会や生徒会役員会などの名称は、学校によって中央委員会や本部会、執行部等様々である。

(2) 生徒会活動の年間指導計画例

指導目標	・よりよい校風の樹立を目指して、学級・学年の枠を越えた生徒同士で協力し、自発的、自治的に活動する生徒を育成する。 ・学校や地域社会で活躍し、貢献できる生徒を育成する。				
月	生徒会が関わる行事等	生徒会役員会 ○生徒評議会	各種の委員会	学級との関連	指導上の留意点
4	入学式 新入生歓迎会	・入学式会場飾りつけ準備 ・入学式における新入生を迎える言葉 ・新入生歓迎会の役割分担と運営 ・生徒会活動計画の作成 ○活動計画等の審議 ・生徒会広報の作成と掲示	・各種の委員会組織の発足 ・年間活動計画案の作成	・入学式会場等の飾りつけ ・委員の選出 ・会への参加	・委員の選出や正副委員長の選出に当たっては、生徒会活動の目標を十分考慮し、生徒の自主性を尊重しながら、安易な決定にならないように留意する。 【3(1)】 ・活動計画の作成に当たっては、学校生活の充実と向上を図るための自主的、実践的な活動やアイデアを大事にする。 【3(2)】
5	生徒総会	・生徒総会の計画 ・生徒会予算案確認 ・生徒総会の役割分担と準備 ○生徒総会の資料作成、準備、運営 ○生徒総会の反省	・各学級からの質問内容に関する回答書の準備	・生徒総会資料の検討 ・生徒総会参加	・学級で生徒総会資料の検討を行う際は、生徒からの発案を大事にし、自治的な活動を支援していく。 【3(2)】

<留意事項>

- 学校の創意工夫を生かし、学級や学校、地域の実態、生徒の発達の段階などを考慮して作成する。
- 学校行事、学級活動との関連を図る。また、各教科、道徳科、総合的な学習の時間等との横断的な指導を図る。特に、いじめの問題を扱う際には、生徒指導や教育相談との関連を図る。**【3(3)】**
- 校内の活動のみならず、小学校等との交流・連携やボランティア等を通して地域との連携を深めたり、社会教育施設を活用した教育活動を展開したりするなど具体的な活動を計画的に取り入れていく。**【3(4)】**

(3) 生徒会役員会の年間指導計画例

活動の目標	生徒全員が学校を誇りにできる〇〇中学校にしよう。自分たちの手でよりよい〇〇中学校を築こう。		
生徒会役員が掲げる今年度の重点目標	①いじめゼロの推進 ②「時間・きまり・清掃」に関する活動の強化 ③主体的に活動するための組織づくりと準備 ④反省を生かした目標や方法の設定		
生徒会役員が掲げる目標達成のための具体的な方策	①生徒朝会の内容の工夫といじめゼロ推進委員会の発足、全校集会の企画 ②生徒評議会の活用、各種の委員会との連携、キャンペーンの実施（全ての委員会が、それぞれの特色を生かした方策を立てる） ③学級委員会・各種の委員会の委員長会議の定例化、生徒朝会の活用、広報の工夫 ④生徒評議会の定例化、生徒会アンケートの実施、生徒朝会の活用		
活動場所	生徒会室	活動時間	各種の委員会開催時を定例とし、その他、必要に応じて開会する
今年度の生徒会テーマ：「信・心・進・〇〇中 ～時間・きまり・清掃を大切にできる学校を目指して」			
月	主な活動内容	指導上の留意点	生徒朝会の計画
4	生徒会組織の発足	・生徒の発案による計画を重視する。【3(2)】 ・新たな生徒会企画に対しての、場所や時間の確保及び教職員の合意を図る。	・学級委員会・各種の委員会の委員長任命式 ・生徒会の運営や計画について
5	年間活動の基盤づくり		・委員会活動の報告と連絡（以降、毎回）
6	学級委員会・各種の委員会の活動の活性化	・学級委員会・各種の委員会との連携を図る。 ・生徒会活動の有効な発信方法を考えさせる。 ・よりよい学校づくりのために、話し合い活動を充実させる。【3(2)】	・学校総合体育大会壮行会 ・むし菌ゼロを目指して（保健委員会）

<留意事項>

- 生徒が話し合いで出した意見を大切にしながら年間計画を作成する。活動内容はできるだけ具体的に作成し、実施においては弾力的な運用ができることが望ましい。【3(2)】
- 学校の特色を創り出す活動となるように、学校や生徒の実態、これまでの取組などを考慮して計画を作成する。
- 生徒朝会の計画的な運営により、生徒会活動の活性化を図る。

(4) 生徒会役員会の活動例

1 活動の内容	「いじめゼロ全校集会」開催		
2 活動のねらい	いじめがなく安心して生活できる学校づくりに主体的に参画できる生徒の育成		
3 当日の計画	(1) 日時 〇月〇日(〇) 公開授業日 〇校時 (2) 場所 体育館 (3) 参加者 全校生徒、教員、保護者、地域の方々	(4) 当日の活動内容（生徒会役員進行） ア いじめゼロ宣言ができた経緯説明（VTR 視聴） イ 生徒会アンケートの結果から見た現状報告 ウ 「クラスいじめゼロ行動宣言」の発表 エ 保護者、地域の方からの応援の言葉 オ 今後の目標と活動についての提案と承認	
4 事前の指導と生徒の活動	(1) 生徒総会での全校生徒の総意による目標設定 「いじめのない学校づくりに向けて生徒会が主体的に取り組もう」 (2) 全校生徒を対象とした「意識調査アンケート」の実施 (3) 本部役員会での起案、実行委員会の編成、生徒評議会での審議 (4) 生徒朝会を利用した広報など、生徒の活動意欲を高めることを目的とした活動 (5) 保護者、地域への発信（学校だよりでの記事掲載、生徒会役員によるPTA役員会・おやじの会への直接依頼） (6) 全校一斉道徳授業公開 (7) 各学級の話合いで「クラスいじめゼロ行動宣言」を決定		
5 事後の指導と生徒の活動	(1) 生徒評議会による活動の反省を行い、今後の活動に生かす。 (2) 生徒会掲示板、生徒朝会、生徒会だより等を利用して、活動の記録を広報する。 (3) 学校だより、お礼の手紙などで保護者、地域の方にお礼、活動状況を発信する。 (4) 学年末に再度、「意識調査アンケート」を実施し、成果と課題を明確にする。		
6 指導上の留意点	(1) 生徒会活動に関心を持ち、生徒一人一人が自分のこととして考える機会となるように「意識調査アンケート」の内容や実施方法を工夫する。 (2) 生徒評議会を通して、様々な立場からの意見を求め、自主的、実践的な活動が実現されるように支援していく。【3(2)】	7 「いじめゼロ全校集会」の企画・運営上の留意点	(1) いじめの未然防止に重点を置いた取組であることを教職員がよく理解した上で進めていく。 (2) 教育相談部会、生徒指導部会、道徳部会等と連携を図っていく。【3(5)】 (3) 学年通信や学校だより等に掲載し、保護者や地域への広報を図る。【3(4)】

(5) 生徒評議会

生徒評議会の年間指導計画例

活動の目標	1 各組織から出される諸課題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定を図ったり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 2 様々な生徒会活動における各組織間の連絡調整や協働の在り方について審議することを通して、学校や地域社会における生活をよりよくしようとする態度を養う。
組織（構成員）	生徒会役員会、学級委員会の各学年代表、各種の委員会委員長、部活動委員会代表
活動時間	月1回実施される各種の委員会の活動日の翌週木曜日の放課後
運営方法	生徒会役員会が議長団を務める。
予想される活動内容	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・組織づくり ・生徒総会の議題について ・生徒会テーマに係る各組織の活動について ・学級・学年・学校の諸問題について ・各種の委員会での会議内容の報告 ・生徒会役員からの提案と学級・委員会・部活動の連携協力の在り方について ・学校行事における学級・各種の委員会等の連携協力について ・地域の行事への参加、他校や地域の人々との交流などについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・各組織の代表、学校の代表という自覚をもたせ、よりよい学校づくりに参画し、協力して諸課題を解決しようとする態度を養う。 ・生徒会テーマに係る各組織の取組の連携の在り方などについて話し合い、生徒会テーマの具現化を図れるようにする。 ・学校生活における身近な問題を取り上げ、生徒全員の問題として解決するために話し合い、合意形成を図れるようにする。【3(2)】 ・生徒会活動全般に関する審議・決定が円滑に行われるよう時間・場所などの設定を適切に行い、必要な情報や資料を十分に提供し、自発的、自治的な活動になるようにする。 ・実践を振り返る時間を設定し、意識化を図るとともに、実践の継続や新たな課題の発見につなげる。

〈留意事項〉

- 生徒総会に次ぐ審議機関であることから、生徒会活動年間指導計画に基づき作成する。
- 学級活動、学校行事との関連を図る。
- 活動に必要な場や機会を計画的に確保する。
- 学校の一貫した指導体制の下に運営することで、自発的、自治的な活動となるように作成する。【3(4)】

(6) 各種の委員会

各種の委員会全体指導計画を作成の上、それぞれの委員会の年間指導計画を作成する。

各種の委員会の年間指導計画例（ボランティア委員会）

活動の目標	学校や地域の課題を見だし、具体的な対策を考え、様々な奉仕活動を実践することを通して、学校や地域社会における生活をよりよくしようとする態度を養う。	
主な活動	○寄付用の書き損じはがきの回収 ○ペットボトルキャップの回収 ○緑の募金活動 ○夏休みボランティア活動 ○赤い羽根共同募金活動	
月	活動内容	指導上の留意点
5	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の活動の振り返り ・5月の活動計画の作成 ・夏休みボランティア活動の立案 <p>【予想される活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のゴミ拾い ・地域の夏祭り翌日の清掃活動 ・地域の除草作業 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・先月の実践を振り返り、成果を上げた活動や課題を発表し合い、結果を分析し、次の活動目標に生かす。 ・登下校等の日常の生活で気になっていることなどの地域の課題について話し合い、夏休みボランティア活動の内容につなげる。【3(4)(5)】 ・安全についての配慮、関係機関等への許可の有無、予算面や活動内容に一定の制限や範囲があることなどについて理解させるとともに、社会福祉協議会主催ボランティア活動等の必要な情報や資料を提供し、生徒の主体的な活動を側面から支援する。 ・具体的な計画を立てる前に、ボランティア委員会で話し合った内容について職員会議で協議し、教職員の共通理解を図る。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動の振り返り ・7月の活動計画の作成 ・夏休みボランティア活動の計画 ・役割分担 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期を振り返り、成果を上げた活動について話し合い、組織としての成長と達成感を実感させる。 ・全校生徒へ活動を広げるための生徒会役員会や他の委員会への協力・連携について話し合い、生徒評議会での提案内容についてまとめさせる。【3(2)】 ・具体的な活動内容を話し合い、役割を分担する。
夏休み	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みボランティア活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア委員の生徒それぞれに役割を分担するとともに、参加する生徒に活動のねらいを明確に示し、生徒が主体的に活動できるようにする。【3(5)】

〈留意事項〉

- 異年齢の生徒同士で協力したり、協働して目標を実現しようとしたりする活動となるように作成する。【3(4)】
- 生徒がそれぞれの役割を分担し、活動の計画を立てて自主的に実践する場や機会を多くするように作成する。

【3(2)】

4 学校行事

(1) 学校行事の年間計画例

月	儀式的行事	文化的行事	健康安全・ 体育的行事	旅行・集団 宿泊的行事	勤労生産・ 奉仕的行事	1 年	2 年	3 年
4	始業式 入学式		身体測定 健康診断 避難訓練			2 1 2 2	1 2 1 2	1 2 1 2
5	離任式		交通安全教室	校外学習 修学旅行		1 1 6	1 1	1 1
6			薬物乱用防止教室		校内緑化活動	1 1	1 1	17 1 1
7	終業式	ふれあい講演会		自然体験学習	ボランティア活動 資源回収	2 1	17 2 1	3 2 1
8	始業式					1	1	1
9			防災訓練 体育祭			1 6	1 6	1 6
10					職場体験活動	29		
11		合唱祭	交通安全教室			4 1	4 1	4 1
12	終業式	芸術鑑賞会	持久走大会		ボランティア活動	2 3 2 1	2 3 2 1	2 3 2 1
1	始業式					1	1	1
2					校内緑化活動	1	1	1
3	卒業式 修了式		球技大会		ボランティア活動	3 3 1	3 3 1	3 2 3 1
						80	63	68

<留意事項>

- 各学校で行事に必要な時間を確保し、創意工夫した学校行事の年間計画を作成する。また、行事の内容を統合するような工夫も考えられる。事前、事後の活動時間については、計画の段階で十分に検討する。
- 幼児、高齢者、障害のある人々との触れ合いや、社会教育施設等を活用した自然体験や社会体験などを積極的に取り入れる。【3(4)】
- 各学校の実態、特色を生かした学校行事を通して、学校文化の創造につなげるように努める。【3(2)】

(2) 学校行事の年間指導計画例

月	行事	ねらい	内容	指導上の留意点	重点化・関連・統合・ 地域との連携の観点	学 年	時 数
4	入学式	厳粛で清新な気分を味わい、儀礼やマナー等の規律や気品ある行動を身に付け、中学生として、新たな希望や意欲をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・開式の言葉 ・国歌斉唱 ・新入生呼名 ・校長式辞 ・教育委員会告辞 ・来賓祝辞 ・来賓紹介並びに祝電披露 ・新入生代表の言葉 ・校歌斉唱 ・閉式の言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生が中学校生活に希望と意欲がもてるように、和やかな中にも厳粛な雰囲気で行う。 ・国旗を掲揚し、国歌を斉唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜地域との連携＞ ・全校生徒だけでなく、保護者や地域の方々にとっても意義深い内容となるようにする。【3(4)】 	全学年	2
6	修学旅行	豊かな自然や文化・社会に親しみ、集団生活を通して公衆道徳を学び、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする事ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習 ・当日(例) <ul style="list-style-type: none"> 1日目：グループ別行動 2日目：グループ別行動 芸術鑑賞会 3日目：クラス別行動 体験学習等 ・事後学習 新聞形式でまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康安全や事故防止の指導を十分に行う。 ・グループ別行動に見通しをもつことができるよう指導する。【3(5)】 ・新聞を保護者等がみる機会をつくる。(保護者会等)【3(4)】 	<ul style="list-style-type: none"> ＜関連＞ ・各教科、道徳科、総合的な学習の時間などと関連を図る。【3(3)】 ＜重点化・統合＞ ・他の行事と統合して重点化を図る。例えば、文化的行事の伝統芸術鑑賞会などの活動を取り入れるなどの創意工夫を図る。 	3学年	17
11	合唱祭	合唱を創り上げる中で、他者と協力することや個性を認め合うことの大切さを確認し、豊かな学校文化を創造しようとする態度を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめの言葉 ・全員合唱 ・各学級の発表 ・有志合唱の発表 ・地域、保護者、教職員合唱 ・指導講評 ・おわりの言葉 小学生との歌声交流会等の場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が準備や運営にかかわる場面をつくり、学校全体で行事を創り上げていくように工夫する。(生徒会活動との関連)【3(2)】 ・家庭や地域、小学生と触れ合う場となる工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ＜統合・重点化＞ ・文化的行事の重点とし、学校文化の創造につなげるような内容を工夫する。 ＜地域との連携＞ ・地域に開かれた学校行事となるような工夫を図る。【3(4)】 	全学年	4

(3) 各行事の指導計画例

ア 儀式的行事「卒業式」の指導計画例

1 ねらい

- 厳粛なうちにも門出を祝う温かい雰囲気の中で、新たな生活への自覚を高められるようにする。
- 卒業生一人一人には卒業の喜びと感謝の気持ちをもたせ、新しい進路へ向けての意欲を高める。
- 在校生一人一人には卒業生への祝福の気持ちを抱かせ、よりよい校風を築いていこうとする意欲を高める。

2 実施計画

- (1)期日 3月〇日 (○) 時間〇:〇〇～〇:〇〇 (2)場所 体育館 (3)参加学年 全学年

3 指導内容

- (1)事前指導 ○生徒会による「卒業生見送りセレモニー」 ○式参加への指導
○国歌、校歌の練習 ○卒業式準備のための生徒の活動

(2)展開

式次第	指導上の留意点
1 開式の言葉	<ul style="list-style-type: none">・国旗は掲揚塔及び式場内の正面に掲揚する。・式の実施時間は、生徒の健康等に留意して長時間にならないように適切に設定する。・卒業式は卒業生のみならず、在校生、保護者、地域の人々にとっても意義深いものとなるようにする。【3(4)】・卒業生が自信と誇りをもって卒業できるように指導する。・学校の一員として、自信と誇りをもって校歌を斉唱できるように指導する。・卒業生の呼名及び卒業証書の受け取り方については事前に指導しておく。【3(1)】
2 国歌斉唱	
3 教育委員会告示	
4 卒業証書授与	
5 校長式辞	
6 来賓祝辞	
7 来賓紹介並びに祝電披露	
8 在校生送辞	
9 卒業生答辞	
10 校歌斉唱	
11 閉式の言葉	

- (3)事後指導 ○学級活動1年「中堅学年に向けての取組を考えよう」
○学級活動2年「最上級生に向けての取組を考えよう」
※事前指導として取り上げることもできる。

4 評価規準 (略)

<留意事項>

- 学校生活に有意義な変化や折り返しを付けることにより、生徒に厳粛で清新な気分を味わわせ、新しい生活の展開への動機付けとなるようにする。
- 入学式や卒業式などにおける国旗及び国歌の指導に当たっては、社会科における指導などとの関連を図り、国旗及び国歌に対する正しい認識をもたせ、それらを尊重する態度を育てる。【3(3)】

イ 健康安全・体育的行事「防災訓練」の指導計画例

1 ねらい

- 地震発生時に、自発的な危機回避行動をとることができるようにする。
- 中学校区における小学校、家庭、地域との連携を図る。

2 実施計画

- (1)期日 9月〇日 (○) 第5校時～ (2)場所 校舎、校庭及び各拠点
(3)参加学年 中学校区の児童及び生徒全員 (4)係分担 (省略)

3 指導内容

(1)事前指導

- 学級活動(2) 題材「種々の災害時の安全」
- 生徒、保護者、自治会長合同の防災研修「安全マップづくり・災害を体験した人の体験談を聞く会・消防署員を招聘しての安全な方法についての学習」を実施する。
- 訓練当日の一人一人の動きについて指導し、シミュレーションを行う。

(2)展開

活動の流れ	指導上の留意点	
13:29 緊急地震速報を流す(小・中学校同時)。	・蛍光灯や壁などの落下物から頭を守るよう、しっかりと机の下にもぐらせる。 ・速やかに校庭へ避難させる。	
13:30 自主的に机の下にもぐる→異常箇所を確認後、第○避難経路で校庭に避難する。		
13:40 小学校から中学生の下校誘導の要請を受ける。		
13:55 自治会別に整列し、地区リーダーの生徒が人数確認し、拠点となる避難場所及び小学校に通学鞆を持って出発。		・様々な他者と協力することの大切さを体験を通して実感する活動となるように工夫する。【3(5)】
14:15 各拠点に到着、地域の防災リーダーの指導の下、各担当に分かれて活動を開始する。 (例:テント設営担当、地区の安否確認担当、小学生の下校補助担当)		・活動中に、怪我や事故が発生しないよう配慮する。 ・下校の見届けは地域の方の協力を得て実施するとともに、教職員も担当地区を巡回する。【3(4)】
16:00 担当拠点別に生徒下校		

(3)事後指導 ○各学級で防災訓練の振り返りを行う。【3(2)】

○成果と課題を話し合い、集約して、小学校・中学校・地域で共有し、次年度に活かす。

4 評価規準(略)

<留意事項>

○地区別活動時の役割分担(それぞれ複数の生徒で行動できるような分担)を行っておく。

○事前に、訓練の日時・内容を家庭や地域にホームページや通知等で周知徹底する。【3(4)】

ウ 勤労生産・奉仕的行事「職場体験活動」の指導計画例

1 ねらい

○働くことの意義、社会的・職業的な自立について理解する。

○自分のできることを判断し、多様な他者と協力して実践できるようにする。

2 実施計画

(1)期日 ○月○日(○)～○月○日(○)(○日間)

(2)場所 ①○○製作所 ②○○図書館 ③○○農園 ④スーパー○○ ⑤○○美容室
⑥○○幼稚園 ⑦○○保育所 ⑧老人ホーム○○苑

3 指導内容

(1)事前指導 ○学級活動(3) 題材「働く目的と意義」

○実際に体験する職場の人をゲストティーチャーとして招聘し、交流の場を設定する。【3(4)】

○学級活動(3)「身近な職業と職業選択」。グループ毎にいくつかの職業について、調べ学習を行い、総合的な学習の時間と関連させ、発表会を行う。【3(3)】

○電話のかけ方、訪問するときの注意点など、一人一人にマナーを学習させる。

【3(1)】

○職場事前訪問を行う。

(2)展開(略)

(3)事後指導 ○学級活動(3) 題材「職業体験活動の振り返り」

○今後の生活で生かしていきたいことを記入させ、これからのよりよい学校・学級の生活づくりにつなげさせる。【3(5)】

○お礼状を作成し、届ける。

4 評価規準(略)

<留意事項>

○職場体験活動は、学校教育全体として行うキャリア教育の一環として位置付け、自己の能力・適性等についての理解を深め、職業や進路等に関わる啓発的な体験が行われるようにする。

○校外での活動で、生徒にとって長期間不慣れな活動に取り組むことになるので、生徒の健康面並びに安全面等に関する事前指導の徹底を図る。さらに体験活動期間中の教師の指導計画策定、連絡体制の整備を確実に行う。また、保護者への周知、協力依頼を行う。【3(1)】